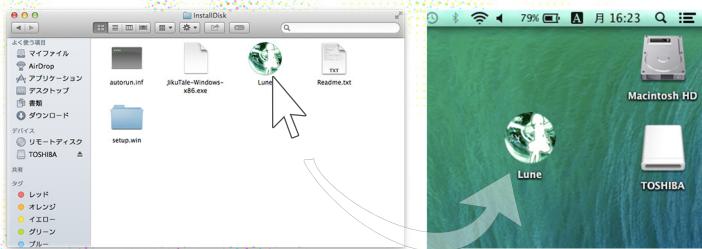


インストール方法（OSX）

- ①CD-ROMをドライブに挿入してください。
ドライブがない場合は、外付けUSBドライブなどをご利用ください。
- ②マウントされたドライブを開き、『時空改札のフェアリーテイル』をお好きなフォルダーにコピー&ペーストしてください。



③以上でインストールは完了です。

☆Windows版とOSX版に違いはありませんが、動作上支障のない、わずかな差異はご容赦ください。

☆ダウンロード版・体験版では、①の「CD-ROMをマウントする手順」は飛ばしてください。

Gatekeeperによりゲームが起動できないときは、**Controlキーを押しながらの起動**をお試しください。

セーブデータに関するご注意

○Windows版のセーブデータは、ユーザーローミング領域に保存されます。
アンインストール時に、データを残すかどうかを選択することができます。

○OSX版のセーブデータは、アプリケーション(app)内に保存されます。
アプリケーションの削除、置き換えを行うと、データがリセットされてしまいます。
アップデータを適用する際は、Optionキーを押しながらの「結合」をお選びください。

○アップデータを適用した場合、セーブデータの互換性が失われることがあります。
万が一発生したセーブデータの損失に、当サークルは一切の責を負いません。

システム仕様に関するお知らせ

○シナリオスクリプト処理の関係上、中間コードを作成する仕様となっています。
スクリプトと中間コードで差異があるとき（アップデートを含む。）は、再度
中間コードを作りますので、メニュー画面が現れるまで多少時間がかかります。

○起動時にストレージファイルの中身をスキャンするため、アクセス速度の遅い
ハードディスクやUSBメモリから立ち上げた場合、メーカースクリーンロゴが
現れるまで少し時間がかかります。

時空改札の フェアリーテイル

本作品をお手に取っていただき、ありがとうございます。
このしおりをよくお読みになり、正しくお楽しみください。

インストール方法（Windows）

- ①CD-ROMをドライブに挿入してください。
自動再生が有効なら、そのままインストーラーが起動します。
- ②コンピューターからドライブを開き、**JikuTale-Windows-x86.exe**をダブルクリックします。



③あとは、インストーラーの指示にしたがって進めてください。



便利な使い方

キーボードショートカット

| | |
|-----------------|------------------|
| Enter | 次へ進む |
| Space | メッセージウィンドウ表示／非表示 |
| Ctrl(⌘)+S | オートスキップ |
| Ctrl(⌘)+P | スクリーンショット撮影 |
| Esc, Alt+F4 | ソフトウェア終了 |
| F12 | ☆ソフトウェア終了 |
| F8 | テキストログ表示／非表示 |
| PageUp,PageDown | テキストログ表示／非表示 |
| F1 | ドロワーメニュー開く／閉じる |
| Shift+Ctrl(⌘)+↑ | アップスケーリング |
| Shift+Ctrl(⌘)+↓ | ダウンスケーリング |
| Shift+Ctrl(⌘)+S | ？？？ |

- ☆印のキーボードショートカットは Windows のみ有効です。
- Mac OSXでは、Commandキー(⌘)がCtrlキーの代わりとなります。

スタジオCGモード

画像を表示したあと、画面内右クリックメニューより、最大3人の立ち絵を配置して、動かすことができます。



* 表示できる背景画やCG、配置できる立ち絵は、ゲーム内で表示済みのものに限りません。本編進行と同時に、パリエーションが開放されていきます。

スケーリング機能 (開発名・虫めがね機能)

高解像度な4Kモニターでプレイするときや、低解像度ネットブックでプレイするとき、ウインドウサイズを伸縮させて表示させることができます。ユーザビリティの向上に貢献します。

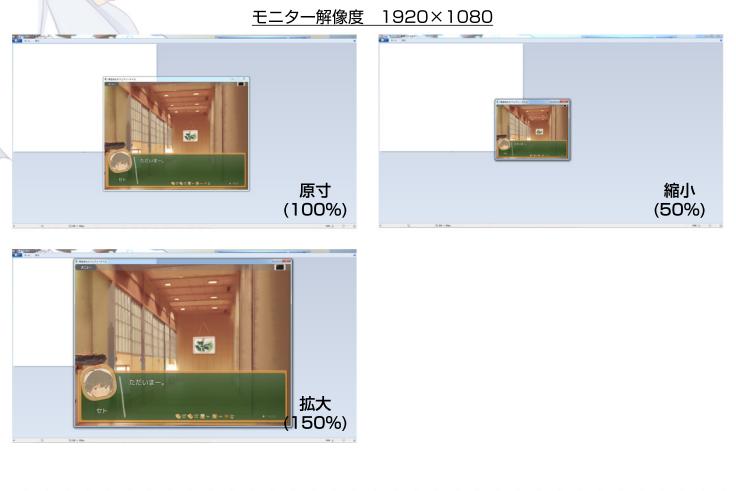
○元ウインドウ800×600ピクセルに対して、最小25%～最大300%まで、25%刻みで拡大縮小することができます。

○スケーリング倍率設定はキーボードショートカットのみです。

Windowsの場合は Shift+Ctrl+↑ ↓

OSXの場合は Shift+Command(⌘)+↑ ↓
で利用できます。

○この機能により、一時的にゲーム内の画像が粗く見えることがあります、実装系およびレンダラーの仕様であり、故障ではありません。



『時空改札のフェアリー・テイル』CD-ROMは、コンピューター用です。
CDプレイヤーなどで再生すると、大音量で耳を痛めるおそれがあります。
オーディオシステムでは絶対にCD-ROMを再生しないでください。